

## は し が き

水産業・漁村を取り巻く環境は、資源状況の悪化や魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化に加え、燃油価格の高騰や水産物消費量の減少など、依然として厳しい状況にあります。

県においては、こうした状況を踏まえ、平成23年3月に新たな「鹿児島県水産業振興基本計画」を策定し、本計画に基づき「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化に取り組んでいます。

当センターにおきましても、同計画に基づき「水産技術の開発と普及」を図るため、漁海況情報の迅速な提供、重要魚種の資源調査、赤潮被害防止対策、藻場造成の技術開発、新たな加工品の実験支援、スジアラ等有用魚介類の種苗生産技術の開発など、多様化するニーズに対応した試験・研究を進めているところです。

平成24年度は、センターに再編・統合してから9年目にあたりますが、加工関連技術において民間企業と連携した取組を積極的に推進し、2件の特許出願を行いました。また、種苗生産技術開発では、オオモンハタの種苗生産に初めて成功するとともに、親魚養成していたヤイトハタでは初めて採卵に成功するなどの成果が見られました。

ここに、水産技術開発センターが平成24年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にいただければ幸いです。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応した試験・研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成26年2月

鹿児島県水産技術開発センター  
所 長 福留 己樹夫